

きほく ささえ愛 便り

vol.3

発行日:令和4年8月1日
発行元:紀北町社会福祉協議会

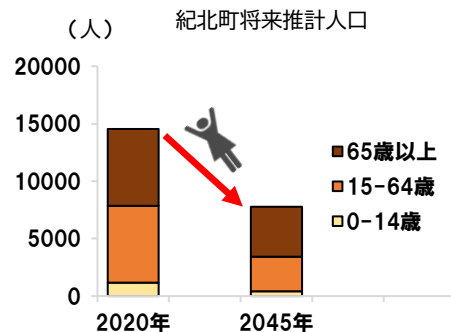
いつまでも安心して自分らしく暮らし続けられる 紀北町を一緒に考えていきませんか

紀北町の約20年後・・・

今の人口は約半分に！2人に1人は高齢者！
一人暮らし・高齢者のみ・認知症世帯が増加！

医療や介護サービスだけでは解決しづらい

暮らしの困り事が増えていくことが予想されます



出典：将来推計人口
(国立社会保障・人口問題研究所)
2018年3月推計

あなたはどちらの紀北町で暮らし続けたいですか？

地域のつながりがない バラバラな町

「今日も一日誰とも
話さなかったな・・・」



孤独死



「気軽に子育ての話が
できる人がいたらな・・・」



地域がつながっていて 支え合いのある町



みんなで
いっしょに
ウォーキング！

買い物行く時に一緒に
乗っていきませんか？



世代を超えた集まりの場



「役割があるって
いきがいになるよ！」

安心して自分らしく暮らし続けるために、気軽にできることから始めてみませんか

気にかけて合う・見守り合う・支え合う

地域支え合い推進員(生活支援コーディネーター)が
「住民主体による支え上手・支えられ上手の地域づくり」をお手伝いします

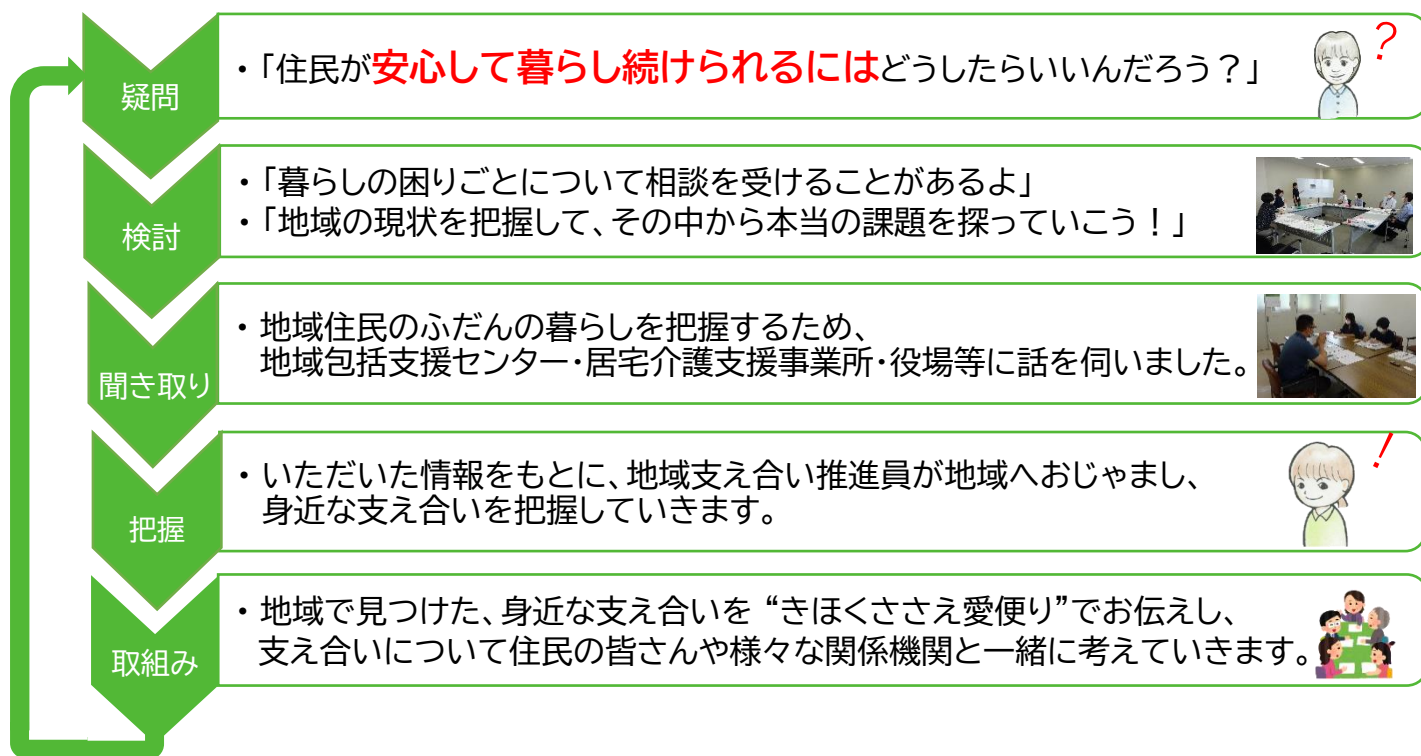
私たちが地域支え合い推進員が取り組んでいくこと

- 地域のつよみや暮らしの困り事を把握し、関係機関のみなさんと共有します
- 元気な高齢者がより元気に活躍できる場、きっかけづくりに取り組みます
- 地域について地域のみなさんと話し合う場を作ります
- 地域で必要だと思われる資源づくりについて、住民や様々な事業主体と一緒に考えます



地域支え合い推進員はどんなことをしているの？

◇地域住民のふだんの暮らしから地域把握！



◇新たな支え合いの発見！

～紀北広域パラスポーツクラブ～

紀北広域パラスポーツクラブ代表の牧野さんは、「ハンディキャップをもつ息子は、運動を通してたくさんのチャンスに出会うことができたので、この地域の障がいをもつみなさんにもその可能性と色々なチャンスを知ってほしい。また、運動をする機会や交流の場、チャレンジをするきっかけになってほしい」との思いから、令和4年4月にクラブを発足。参加者のご家族や地域の方も一緒に運営を行い、支え合いながら活動されており、参加者の自主的な健康維持や社会参加の機会となっています。

参加者・保護者の声

「楽しかった。また来月も来ます！」
「本人も気分転換になってると思います」
「1回目よりも2回目の方が
積極的に活動に参加できている。慣れてきたのかな？」



牧野代表の話

はじめはどれだけの人に関心・興味を持ってくれるか、そして参加してくれるか、ドキドキでした。でも、地域の方も行政の方も「障がい者のスポーツ活動」に関心を持ち、参加して下さってうれしいです。障がいのある方の活力ある様子を是非、地域のみなさんにも知っていただきたいです。

これからも、参加者の皆さんが「自分たちの自主的な活動」という意識で生き生きと取り組めるようサポートしていきたいです。



みなさんの地域で、すでに行われている

気かけ合い・見守り合い・支え合い

を教えてください！

地域支え合い推進員が
おじゃまさせていただきます！



お問合せ先

社会福祉法人 紀北町社会福祉協議会

紀北町東長島209-9

TEL 0597-47-0725 FAX 0597-47-5010

